

国語

中学3年

本書の構成と特色

■ 全体の構成

本書は受験学年を目前に控えた春期講習という、時期的な特殊性を考慮し、次の二点にポイントを絞って、効果的な学習ができるように編集してあります。

- ◆ 現代文の読解力を高める
- ◆ 古典・韻文の基礎力を固める

■ 単元の構成

本書は、各単元が、確認問題と練成問題によって構成されています。

- ◆ 見開き完結…読解問題は、各単元とも確認問題と練成問題がそれぞれ見開き完結になるようにしてあります。
- ◆ 確認問題…現代文では、比較的易しい問題を配し、漢字・語句では、基礎知識の確認と習得を目的とした問題を配してあります。
- ◆ 練成問題…確認問題から一段階ステップアップした、発展的問題を配してあります。これによって、実力の養成ができるようにしてあります。

■ Check & Try

巻頭の「**事前に Check!**」は、基本事項を簡単におさらいできる問題で構成してあります。定着の度合いを確認することができます。

巻末の「**最後に Try!**」では、基本問題を中心にしながら、やや応用的な問題もふくめて構成してあります。本書で学習した成果を確認することができます。定期テストの準備に最適です。

CONTENTS

	学習日		
事前に Check!	2	4 古典	18
1 論説文	6	5 詩・俳句	22
2 随筆	10	6 漢字・語句	26
3 小説	14	最後に Try!	28



事前に
Check!

どこまで身についているか確かめよう！

次のそれぞれの問いに答えなさい。

1 〈熟語の組み立て〉

□(1) 次の熟語の組み立てとして適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

□①	増減	〔 〕	□②	独断	〔 〕
□③	上陸	〔 〕	□④	利害	〔 〕
□⑤	主要	〔 〕	□⑥	接続	〔 〕
□⑦	高校	〔 〕	□⑧	未定	〔 〕
□⑨	県立	〔 〕	□⑩	絶食	〔 〕
□⑪	創造	〔 〕	□⑫	席順	〔 〕
□⑬	油田	〔 〕	□⑭	国定	〔 〕
□⑮	不要	〔 〕	□⑯	平等	〔 〕
□⑰	両面	〔 〕	□⑱	入試	〔 〕
□⑲	往復	〔 〕	□⑳	無理	〔 〕

ア 類義語どうし
イ 対義語どうし
ウ 主語＋述語
エ 述語＋目的語・補語
オ 修飾語＋被修飾語
カ 上が下を否定する
キ 長い熟語の省略

2 〈漢字の部首〉

□(1) 次のそれぞれの漢字の部首名として適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□①	被	〔 〕	□②	厚	〔 〕
□③	歌	〔 〕	□④	円	〔 〕
□⑤	考	〔 〕	□⑥	死	〔 〕
□⑦	陸	〔 〕	□⑧	衛	〔 〕
□⑨	神	〔 〕	□⑩	交	〔 〕
□⑪	延	〔 〕	□⑫	難	〔 〕
□⑬	散	〔 〕	□⑭	悩	〔 〕
□⑮	形	〔 〕	□⑯	児	〔 〕

ア ころもへん
イ りっしんべん
ウ ぎょうにんべん
エ しめすへん
オ かばねへん
カ こざとへん
キ えんによう
ク しんによう
ケ さんづくり
コ あくび
ク るまた
ケ のぶん
ス ふるとり
セ ひとあし
ソ さら
タ どうがまえ
チ ぎょうがまえ
ツ なべぶた
テ おいかんむり
ト やまいだれ
ナ がんだれ

3 〈類義語〉

□(1) 次のそれぞれの熟語の類義語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

4 〈対義語〉

(1) 次のそれぞれの熟語の対義語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

<input type="checkbox"/> ⑦ 温暖	<input type="checkbox"/> ⑧ 過失	<input type="checkbox"/> ① 精神	<input type="checkbox"/> ② 形式
<input type="checkbox"/> ⑤ 権利	<input type="checkbox"/> ⑥ 疎遠	<input type="checkbox"/> ③ 怠惰	<input type="checkbox"/> ④ 快諾

二 相互	又 消息	ネ 対等	<input type="checkbox"/> ① 示唆 <small>しき</small>	<input type="checkbox"/> ② 罷免 <small>ひめん</small>
テ 失望	ト 出世	ナ 不意	<input type="checkbox"/> ③ 音信	<input type="checkbox"/> ④ 細心
タ 挿入	チ 冷静	ツ 専念	<input type="checkbox"/> ⑤ 案内	<input type="checkbox"/> ⑥ 傾向
ス 不在	セ 意外	ソ 風潮	<input type="checkbox"/> ⑦ 介入	<input type="checkbox"/> ⑧ 互角
コ 暗示	サ 誘導	シ 不満	<input type="checkbox"/> ⑨ 沈着	<input type="checkbox"/> ⑩ 案内
キ 決心	ク 信用	ケ 綿密	<input type="checkbox"/> ⑪ 突然	<input type="checkbox"/> ⑫ 日常
工 希望	オ 分別	カ 書簡	<input type="checkbox"/> ⑬ 覚悟	<input type="checkbox"/> ⑭ 没頭
ア 関与	イ 解雇 <small>かいこ</small>	ウ 平素	<input type="checkbox"/> ⑮ 落胆	<input type="checkbox"/> ⑯ 思慮
			<input type="checkbox"/> ⑰ 立身	<input type="checkbox"/> ⑱ 手紙
			<input type="checkbox"/> ⑲ 不服	<input type="checkbox"/> ⑳ 留守

5 〈ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語〉

(1) 次のことわざがことわざ・故事成語になるように、に入ると適切なことばを書いて答えなさい。

<input type="checkbox"/> ① 馬の耳に <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> も山のにぎわい	<input type="checkbox"/> ③ 窮鼠 <small>きゆうそ</small> <input type="checkbox"/> をかむ	<input type="checkbox"/> ④ 目から <input type="checkbox"/> が落ちる	<input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> 下暗し	<input type="checkbox"/> ⑥ 紺屋 <small>こうや</small> の <input type="checkbox"/> 袴 <small>はかま</small>	<input type="checkbox"/> ⑦ 光陰 <input type="checkbox"/> のごとし	<input type="checkbox"/> ⑧ 好きこそものの <input type="checkbox"/> なれ
--	---	--	--	---	--	---	--

二 枝葉	又 未知	ネ 需要	<input type="checkbox"/> ⑨ 供給	<input type="checkbox"/> ⑩ 反抗
テ 加入	ト 内容	ナ 承諾	<input type="checkbox"/> ⑪ 強制	<input type="checkbox"/> ⑫ 客観
タ 勤勉	チ 減退	ツ 義務	<input type="checkbox"/> ⑬ 偶然	<input type="checkbox"/> ⑭ 具体
ス 主観	セ 必然	ソ 弱体	<input type="checkbox"/> ⑮ 根幹	<input type="checkbox"/> ⑯ 完備
コ 講義	サ 肉体	シ 任意	<input type="checkbox"/> ⑰ 往信	<input type="checkbox"/> ⑱ 狭義
キ 故意	ク 親密	ケ 返信	<input type="checkbox"/> ⑲ 増進	<input type="checkbox"/> ⑳ 既知
工 抽象	オ 広義	カ 服従		
ア 寒冷	イ 固辞	ウ 不備		

- 9 □ の舞台から飛び降りる
- 10 □ の矢が立つ
- 11 住めば □
- 12 □ に交われば赤くなる
- 13 悪事 □ を走る
- 14 □ は三文の徳
- 15 □ は食わねど高楊枝たかようじ
- 16 □ の顔も三度
- 17 待てば □ の日和あり
- 18 焼け石に □
- 19 逃した □ は大きい
- 20 □ 多くして船山にのぼる
- 21 □ が万事
- 22 □ も方便
- 23 江戸の敵を □ で討つ
- 24 短気は □
- 25 □ で血を洗う
- 26 月と □
- 27 □ 元過ぎれば熱さ忘れる
- 28 □ から駒が出る
- 29 柳の下にいつも □ は居らぬ
- 30 □ に漱ぎ流すすれに枕す
- 31 蛍雪の □
- 32 塞翁が □
- 33 □ の威を借る狐きつね
- 34 李下に □ を正さず
- 35 他山の □

- 36 □ を守って兎うさぎを待つ
 - 37 一炊の □
 - 38 破 □ の勢い
 - 39 登竜 □
 - 40 孟 □ 三遷
 - 41 丸い □ も切りようで四角
 - 42 箸にも □ にもかからぬ
 - 43 袖すり合うも □ の縁
 - 44 □ の恥はかき捨て
 - 45 先んずれば □ を制す
 - 46 □ に短したすきに長し
 - 47 □ 隠して尻隠さず
 - 48 □ より育ち
 - 49 瓜うりのつるに □ はならぬ
 - 50 仏作って □ 入れず
- (2) 次のことばが()の意味の慣用句になるように、□に入る適切なことばを書いて答えなさい。
- ① □ に塩 (人が力なくしおれる様子)
 - ② □ をひっぱる (他人の成功や前進の邪魔をする)
 - ③ □ を押す (道理に合わないことを無理にすること)
 - ④ □ に覚えがある (自分の力量に自信がある)

- ⑤ から鼻へ抜ける
(とても賢い)
- ⑥ を食う
(驚きあわてる)
- ⑦ のねずみ
(追いつめられて逃げ場のないこと)
- ⑧ を返す
(口ごたえをする)
- ⑨ 木で □ をくくる
(そっけない態度で応じる)
- ⑩ を伸ばす
(解放されてのびのびと振る舞う)
- ⑪ をかじる
(親や他人に養ってもらう)
- ⑫ を出す
(隠し、ごまかしていたのが見つかる)
- ⑬ をくくる
(覚悟をする)
- ⑭ を疑う
(意外なことを見て、信じられない)
- ⑮ をくわえる
(うらやみながらも手を出せないでいる)
- ⑯ 火に □ を注ぐ
(勢いの激しいものにさらに勢いを加える)
- ⑰ の車
(家計がきわめて苦しい)

- ③ 次のそれぞれの四字熟語の□に入る適切な漢字を書いて答えなさい。
- ① □ 骨砕身 □ ② 大□晩成
 - ③ 千変□化 □ ④ 公□正大
 - ⑤ 意味□長 □ ⑥ □顔無恥
 - ⑦ □人未到 □ ⑧ 傍□無人
 - ⑨ 半信半□ □ ⑩ □頭狗肉
 - ⑪ □和雷同 □ ⑫ □方美人
 - ⑬ 三寒□温 □ ⑭ 試行錯□
 - ⑮ 空前□後 □ ⑯ 一□発起
 - ⑰ 異□同音 □ ⑱ □心伝心
 - ⑲ 当□即妙 □ ⑳ 大義名□
 - ⑳ □ のむしろ
(気の休まらないつらい場所や境遇)
 - ㉑ □ を貸す
(助力する)
 - ㉒ □ の空
(気がかりなことがあり、集中しない状態)
 - ㉓ □ を正す
(気持ちがたるまないようひきしめる)
 - ㉔ □ をかく
(相手の予想とは反対のことをして出し抜く)
 - ㉕ □ が固い
(融通がきかない)
 - ㉖ □ を切る
(知らないふりをする)
 - ㉗ □ を冷やす
(危ない目にあってひやりとする)

1 論説文

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

20

15

10

5

45

40

35

30

25

〈毛利子来「新エミール」より〉

55

50

□(1) ① ③ に入ることばとして最も適切なものを次からそれぞれ

選び、記号で答えなさい。

- ア だから イ しかし
- ウ なぜなら エ あるいは

①
②
③

□(2) * に入る四字熟語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 一網打尽 せんぺんいちりつ イ 千篇一律
- ウ 同工異曲 エ 支離滅裂

--

□(3) 線①「これ」が指している内容として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 幼い子が、イヌを見て「ウー」とか「キャン」とか言っても、放っておくこと。

イ 幼い子に、普遍性の高い抽象語を教えず、実感を重視した言葉を教え込むこと。

ウ 幼い子に、実体を無視して、抽象的な「イヌ」という言葉を教え込むこと。

エ 幼い子の「ウー」「キャン」という言葉が実体をとらえているとみなすこと。

--

□(4) 線②「その言葉を発するときの子どもの心情を思えば、なおさら苦しくなってくる」とありますが、筆者は「子ども」には、どういった挨拶の仕方をさせるべきだと考えていますか。筆者の考えがまとめて述べられている一文を、ここよりあとの本文中から探し、その最初の五字(読点も字数に数えます)を書き抜いて答えなさい。

□(5) 線③「それが、ひとつも恨みでなく、熱烈なエールであり、優れた挨拶になっていくのだ」といえるのはどうしてですか。その理由として最も適切と考えられるものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 驚くような挨拶の中に、子どもたちの正直な気持ちが表れているから。
- イ 子どもは、親しさを表す手段として手荒なやり方しか知らないから。
- ウ 言葉を使う挨拶は、子どもにうそをつくことを強いるものだから。
- エ 子どもは無邪気で打算やごまかしなど全く知らない純真なものだから。

--

□(6) 線④「言葉の豊富さは、言葉の上だけでの整合性を生む」とありますが、これを言い換えた次の文の□に入る最も適切なことばを、ここよりあとの本文中から七字で書き抜いて答えなさい。

〈多くの言葉を覚えることで、無意識のうちに、□をすることができるようになる。〉

●
練成問題

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



20

15

10

5



50

45

40

35

30

25

